

雪道の自転車の乗り方に気を付けよう！

生徒指導部

雪道で滑ることで、交通事故の危険が高まります。原因は**スリップ**による事故です。自分が転倒したり、付近のものに衝突や接触をしてけがをするリスクが高まります。

普段は気にしない自動車のすれ違いも、タイミング悪く転倒し、交通事故になりかねません。自分が注意していたとしても、自動車の方がスリップしてしまう可能性もあります。雪道では普段よりも交通事故がずっと多く危ないのです。

また、雪が解けて乾かないうちに凍結する**アイスバーン**も大変危険です。特に危ないのが**「ブラックアイスバーン」**です。ブラックアイスバーンとは、普通のアイスバーンよりも薄く路面が凍結している状態の事を指します。路面が凍結して自転車が滑るのは同じですが、ブラックアイスバーンは薄いことから、**判別しにくい**特徴があります。

下校時だけでなく、夕方や明日の朝など今後の道路の状況には十分に注意しましょう。

【雪道の自転車の走り方】

<ポイント>

- 雪道は乗らない。
(自転車を押して歩く)
- スピードを落とす。
- 3つの「急」を避ける。
 - ・急発進
 - ・急ハンドル
 - ・急ブレーキ

① 「雪道は乗らない」

- ・雪やアイスバーンを避ける。雪道を通らなければ滑る心配もありません。除雪された道を利用したり自転車を降りて押して歩きましょう。

② 「スピードを落とす」

- ・スピードを出していると氷で滑ってすぐには止まれません。雪や石などの段差があった場合、自転車がつかずいて転倒してしまうこともあります。
- ・いつもの約半分程度のスピードを保つ。 **すぐに足で支えられるようにすることも大切です。**

③ 「3つの急を避ける」

<急発進>

- ・スリップによる事故が起こりやすくなります。

<急ブレーキ>

- ・急ブレーキはスリップしやすくなります。スピードを出しすぎず、早めにブレーキをかけましょう。ブレーキをかける時は**後輪のブレーキ**を利用します。前輪のブレーキの方がしっかり止まりますが、氷の上で急ブレーキをかけるとスリップしやすくなります。

<急ハンドル>

- ・急ハンドルをかけるとスリップしやすくなります。スピードを落としてゆっくり曲がりましょう。